

第15回（令和6年秋期）
大分県不動産市況DI調査

調査報告書
（詳細版）

令和7年3月

公益社団法人 大分県不動産鑑定士協会

目 次

I. はじめに.....	1
II. 調査の方法.....	1
1) アンケート調査の方法.....	1
2) 地域区分.....	1
3) D I (Diffusion Index) の算定方法.....	2
4) その他.....	2
III. 調査結果.....	3
1. 調査結果の概要.....	3
1) 大分県不動産市況D I	3
2) 大分県地価D I の推移と地価動向.....	4
3) 地域別不動産市況D I	5
(1) 地域別地価D I	5
(2) 地域別賃料D I	6
(3) 地域別地価D I と地価動向.....	7
2. 調査結果の詳細.....	8
1) 営業の内容.....	8
(1) 主な営業地域.....	8
(2) 主な事業内容.....	9
2) 地価の動向.....	10
(1) 足元の地価動向	10
(2) 地価動向の先行き.....	12
3) 賃料・空室率の動向.....	14
(1) 足元の賃料・空室率の動向.....	14
(2) 賃料・空室率の先行き	18
4) 業況判断.....	22
(1) 足元の業況.....	22
(2) 業況の先行き.....	24
5) 不動産市場の動向に関し特に感じていること（自由回答）.....	26

《付属資料》アンケート調査票

I. はじめに

公益社団法人大分県不動産鑑定士協会では、大分県のご後援のもと、一般社団法人大分県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会大分県本部のご承認をいただき、平成28年度より、『大分県不動産市況D I 調査』を実施しています。

本調査は、大分県における不動産市況の現状と将来の動向及び不動産業の業況等を把握し、調査結果を広く公表することにより、県民並びに県内外の企業や投資家による不動産取引の活性化や不動産の有効活用の促進に資することを目的としています。

また、本調査は、不動産業者へのアンケート調査を基礎としています。本調査の実施に際し、ご承認いただいた一般社団法人大分県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会大分県本部、並びに実際にご回答いただいた両協会会員の皆さまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

公益社団法人 大分県不動産鑑定士協会
大分県不動産市況D I 調査委員会

II. 調査の方法

1) アンケート調査の方法

アンケート調査は、下記の方法により実施した。

- ① 実施主体：公益社団法人大分県不動産鑑定士協会
- ② 調査対象：一般社団法人大分県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会大分県本部の会員
- ③ 調査内容：後掲付属の「不動産の市場動向に関するアンケート調査」調査票参照
- ④ 調査時期：令和6年11～12月配付
- ⑤ 調査方法：研修会会場で配付
研修会会場で回収及びファックス又は郵便による回収
- ⑥ 回収率等：配付数793、有効回答数208、回収率26.2%

2) 地域区分

アンケート結果の地域別の集計は、大分県を下記の5つの地域に区分し集計した。

- ① 大分市
- ② 別府市
- ③ 北部地域（中津市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町）
- ④ 西部地域（日田市、由布市、九重町、玖珠町）
- ⑤ 南部地域（佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市）

（次ページ「地域区分図」参照）

地域区分図



3) D I (Diffusion Index) の算定方法

問3～問8の不動産市況及び不動産業の業況に関する設問において、「分からない」や未回答を除き、例えば「上昇」、「横ばい」、「下落」に対する回答数 ($n_{\text{上昇}}$, $n_{\text{横ばい}}$, $n_{\text{下落}}$) に応じ、下式により算定する。

$$DI = \frac{n_{\text{上昇}} \times 100 + n_{\text{横ばい}} \times 0 + n_{\text{下落}} \times (-100)}{n_{\text{上昇}} + n_{\text{横ばい}} + n_{\text{下落}}}$$

これにより、すべての回答が「上昇」の場合、D I は+100 となり、すべての回答が「下落」の場合、D I は-100 となる。また、「上昇」と「下落」が同数（または、すべての回答が「横ばい」）の場合、D I は±0 となる。

したがって、例えば地価について見れば、D I = 0 が地価上昇と地価下落の市況判断の境目となる。

4) その他

また、問3～問8の設問においては、「1年～半年前と比較した現在の状況」と、「現在と比較した半年～1年後の状況」とについて質問している。本報告書では、前者を『足元』、後者を『先行き』と表記する。

Ⅲ. 調査結果

1. 調査結果の概要

1) 大分県不動産市況D I

		前回調査 (R5 秋期)	今回調査 (R6 秋期)	動向
住宅地地価	足元	+49.4	+45.2	-4.2
	先行き	+21.6	+17.9	(-27.3)
商業地地価	足元	+47.2	+50.0	+2.8
	先行き	+23.5	+22.5	(-27.5)
共同住宅賃料	足元	+16.1	+12.6	-3.5
	先行き	+4.5	+11.2	(-1.4)
共同住宅空室率	足元	-28.6	-25.7	+2.9
	先行き	-33.2	-31.4	(-5.7)
店舗・事務所賃料	足元	+2.3	+7.2	+4.9
	先行き	-7.2	-5.3	(-12.5)
店舗・事務所空室率	足元	-28.3	-34.9	-6.6
	先行き	-36.2	-32.7	(+2.2)

※ 「動向」欄上段の数値は、前回調査の足元のD I→今回調査の足元のD Iの変化
下段()書の数値は、今回調査の足元のD I→今回調査の先行きのD Iの変化

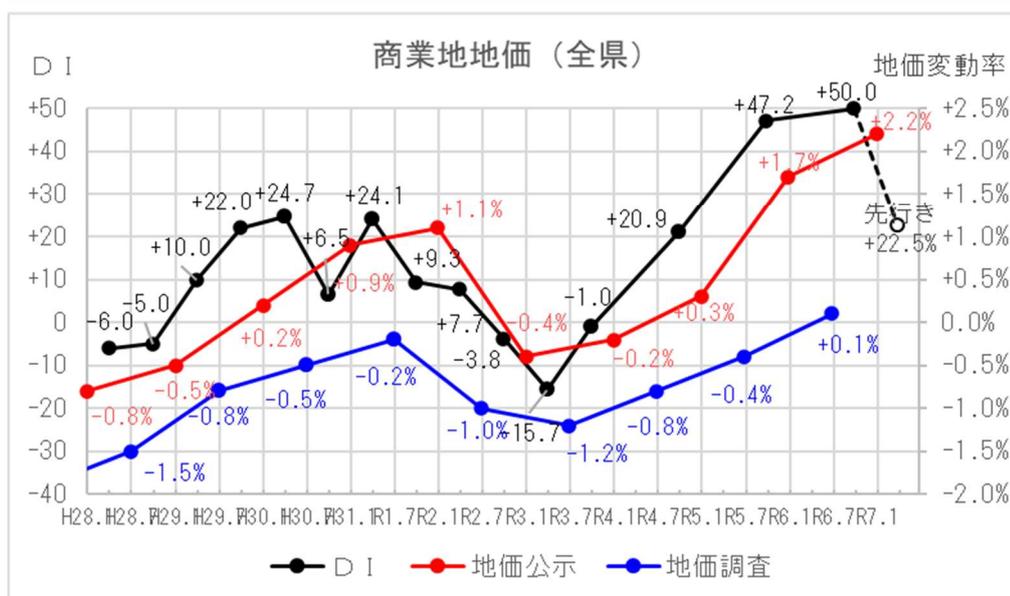
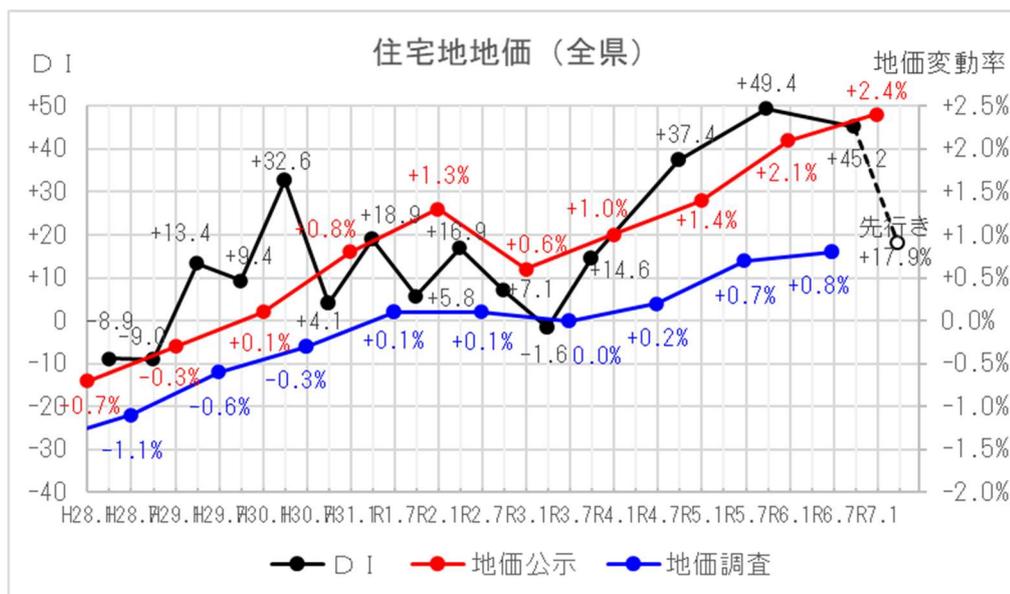
【前回調査の足元と今回調査の足元の比較】

- 大分県全体の不動産市況D Iを見ると、今回調査では住宅地・商業地地価のD I値は、前回に引き続きいずれもプラスとなっている。また、共同住宅及び店舗・事務所の賃料の項目についても、D I値は前回に引き続きいずれもプラスとなっている。なお、共同住宅及び店舗・事務所の空室率の項目については、前回に引き続きD I値はマイナス（空室率増加：悪化）となっている。
- 前回調査の足元D Iと今回調査の足元D Iを比較（動向）すると、前回は全ての項目で大幅なD I値のプラス（マイナス幅の縮小）であったが、今回は、商業地地価、共同住宅空室率、店舗・事務所賃料がD I値のプラスで、その他はマイナスとなった。

【今回調査における足元と先行きの比較】

- 今回調査の先行きD Iは前回に引き続き、住宅地地価、商業地地価及び共同住宅賃料がプラスとなったが、共同住宅空室率、店舗・事務所賃料及び空室率の項目について、D I値がマイナスとなっている。
- また、今回調査の足元D Iと先行きD Iを比較すると、店舗・事務所空室率を除くすべての項目で減少となっていることから、未だ不動産市況に対し慎重な見方が強いことが窺える。

2) 大分県地価D Iの推移と地価動向



- 第1回調査（平成28年春期）から今回調査（令和6年秋期）までの住宅地地価及び商業地地価のD I（過去の調査は足元のD I，今回調査は足元及び先行きのD I）と、地価公示及び大分県地価調査における住宅地及び商業地の地価変動率（対前年変動率の大分県平均値）を比較した。
- 足元のD Iは、住宅地は前回調査（令和5年秋季）からプラス幅が減少しているが・商業地は引き続きプラス幅を拡大している。なお、先行きD Iは住宅地地価及び商業地地価ともに今回足元D I値よりも低い値を示している。
- 地価公示及び大分県地価調査における住宅地及び商業地の地価変動率は、令和7年1月時点の地価公示では、住宅地・商業地ともに上昇幅を拡大させている。なお、直近の令和6年7月時点の大分県地価調査では、住宅地は上昇幅を拡大させ、商業地はマイナスからプラスへ転じている。
- 大分県地価調査は、町村部を広く含む調査であるため、地価公示の地価変動率に比べるとやや低位に推移している。

3) 地域別不動産市況 D I

(1) 地域別地価 D I

住宅地地価 D I

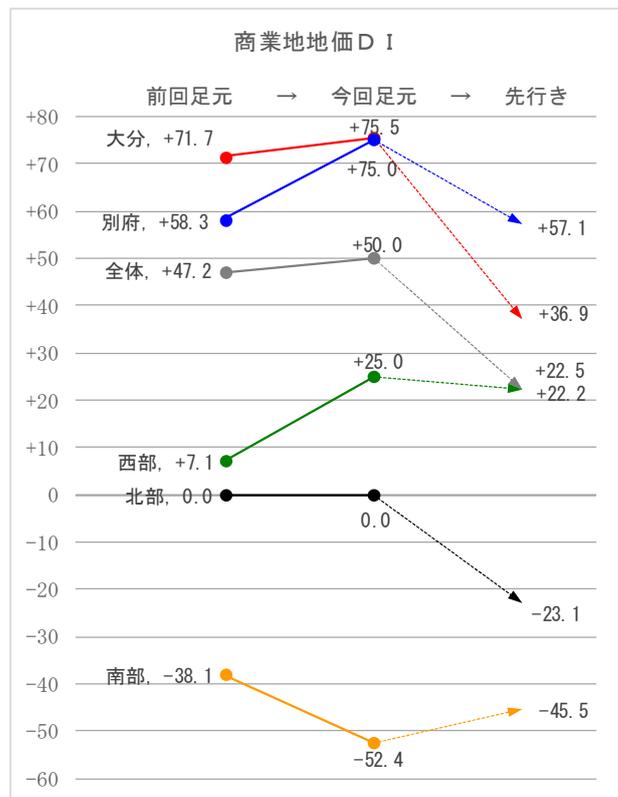
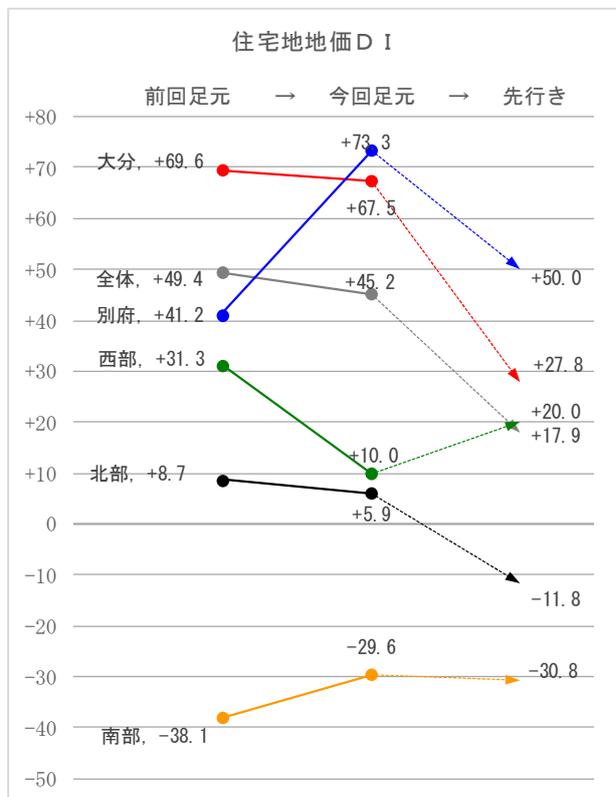
上段：前回調査結果，下段：今回調査結果

	足元	先行き	変化
	①	②	②-①
全体	(+49.4) +45.2	(+21.6) +17.9	(-27.8) -27.2
大分市	(+69.6) +67.5	(+30.6) +27.8	(-39.0) -39.7
大分市以外	(+7.8) +7.2	(+3.8) 0.0	(-4.0) -7.2
別府市	(+41.2) +73.3	(+29.4) +50.0	(-11.8) -23.3
北部地域	(+8.7) +5.9	(+12.0) -11.8	(+3.3) -17.6
西部地域	(+31.3) +10.0	(+12.5) +20.0	(-18.8) +10.0
南部地域	(-38.1) -29.6	(-33.3) -30.8	(+4.8) -1.1

商業地地価 D I

上段：前回調査結果，下段：今回調査結果

	足元	先行き	変化
	①	②	②-①
全体	(+47.2) +50.0	(+23.5) +22.5	(-23.6) -27.5
大分市	(+71.7) +75.5	(+39.8) +36.9	(-31.8) -38.6
大分市以外	(0.0) 0.0	(-7.0) -5.2	(-7.0) -5.2
別府市	(+58.3) +75.0	(+33.3) +57.1	(-25.0) -17.9
北部地域	(0.0) 0.0	(+4.3) -23.1	(+4.3) -23.1
西部地域	(+7.1) +25.0	(+6.7) +22.2	(-0.5) -2.8
南部地域	(-38.1) -52.4	(-52.4) -45.5	(-14.3) +6.9



- 大分県内の地価の足元 D I 値をみると、概ねプラスとなっている。住宅地は D I 値にやや落ち着きが見られるが、商業地はやや上昇傾向である。地域で見ると、別府市は住宅地・商業地でいずれも強いプラス傾向が見られるが、南部地域においては引き続きいずれもマイナス傾向である。
- 先行きについては、北部・南部を除き県内の D I 値は住宅地・商業地ともにプラスである。
- 足元の D I 値から先行きの変化を見ると、減少する傾向にあり未だ不動産市況に対し慎重な見方が大勢を占めている。

(2) 地域別賃料D I

共同住宅賃料D I

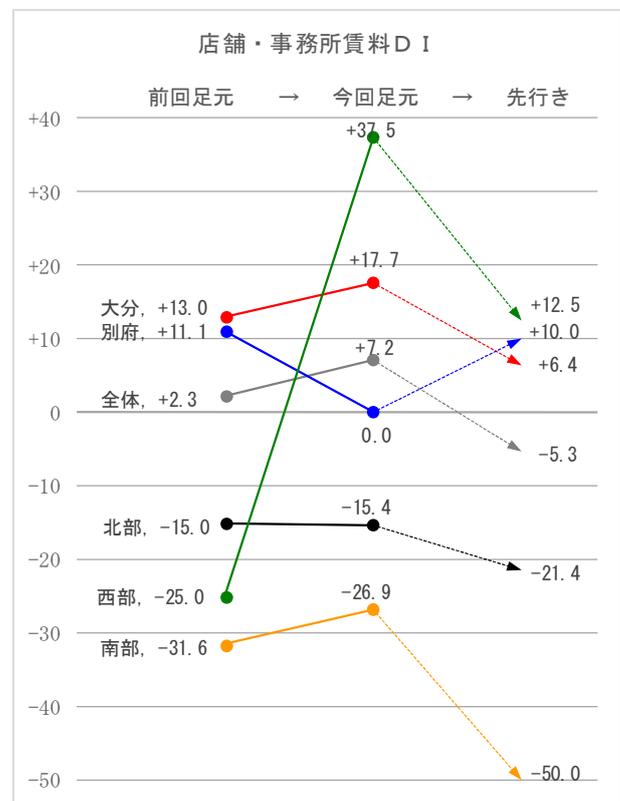
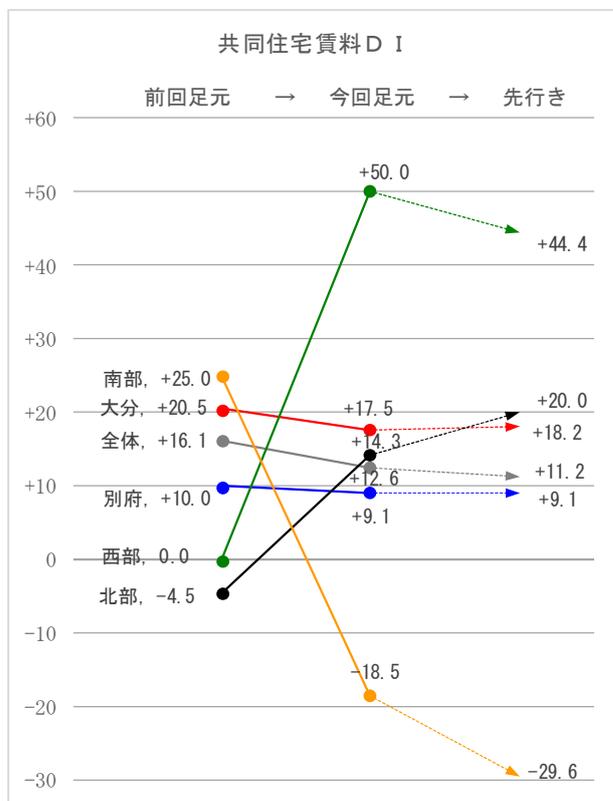
店舗・事務所賃料D I

上段：前回調査結果，下段：今回調査結果

	足元 ①	先行き ②	変化 ②-①
全体	(+16.1) +12.6	(+4.5) +11.2	(-11.6) -1.4
大分市	(+20.5) +17.5	(+10.1) +18.2	(-10.4) +0.7
大分市以外	(+7.7) +4.8	(-5.8) 0.0	(-13.5) -4.8
別府市	(+10.0) +9.1	(+9.1) +9.1	(-0.9) 0.0
北部地域	(-4.5) +14.3	(0.0) +20.0	(+4.5) +5.7
西部地域	(0.0) +50.0	(+7.7) +44.4	(+7.7) -5.6
南部地域	(+25.0) -18.5	(-28.6) -29.6	(-53.6) -11.1

上段：前回調査結果，下段：今回調査結果

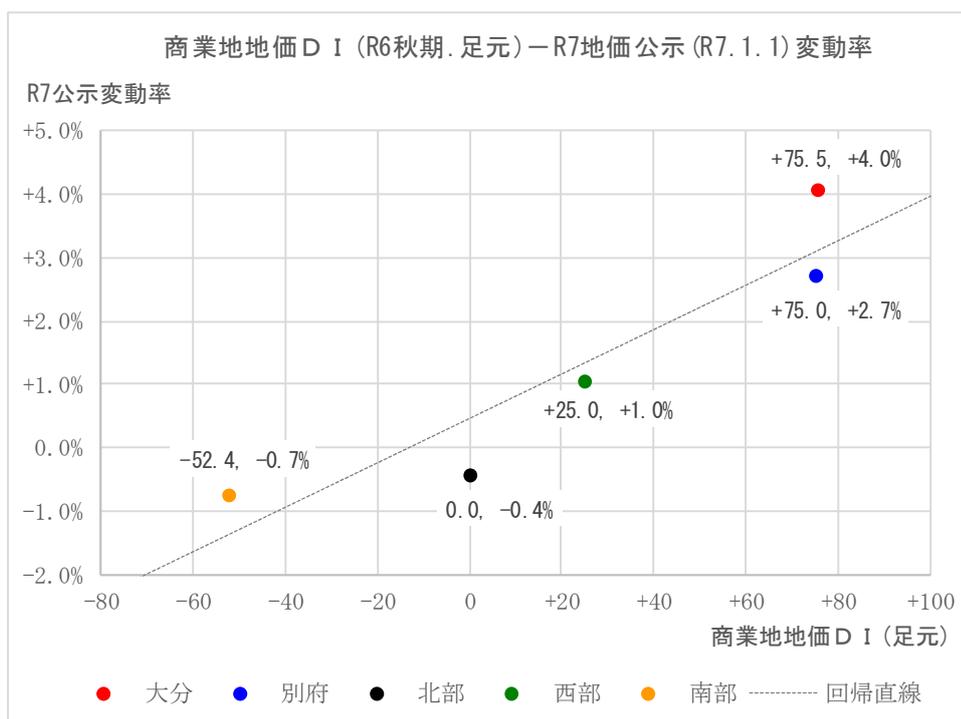
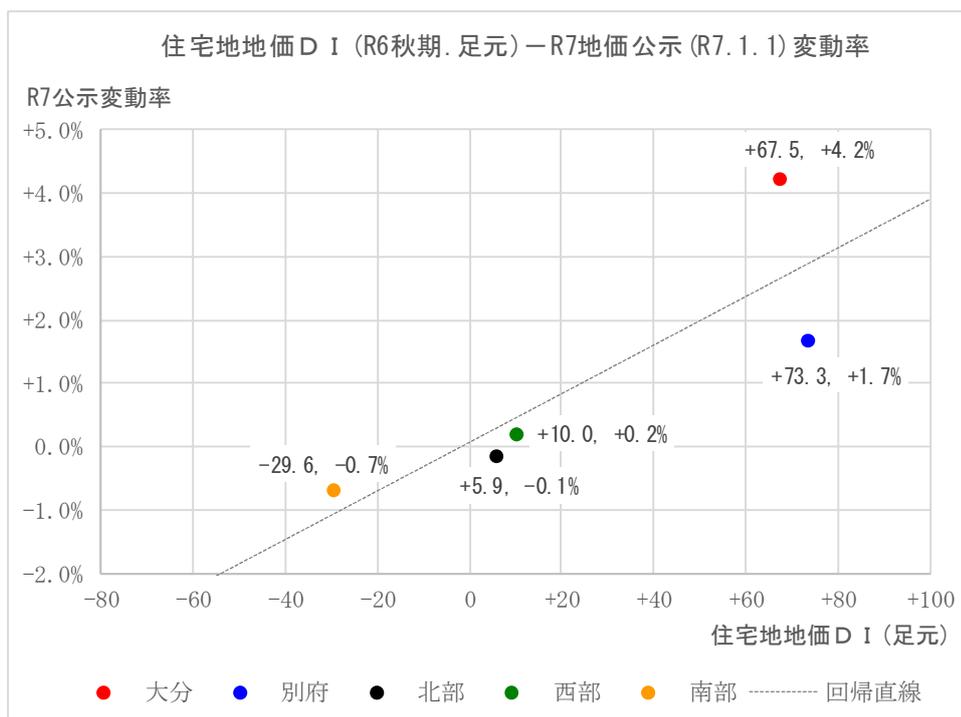
	足元 ①	先行き ②	変化 ②-①
全体	(+2.3) +7.2	(-7.2) -5.3	(-9.5) -12.5
大分市	(+13.0) +17.7	(-1.7) +6.4	(-14.8) -11.3
大分市以外	(-18.3) -10.5	(-16.9) -24.1	(+1.4) -13.6
別府市	(+11.1) 0.0	(+27.3) +10.0	(+16.2) +10.0
北部地域	(-15.0) -15.4	(-9.1) -21.4	(+5.9) -6.0
西部地域	(-25.0) +37.5	(-16.7) +12.5	(+8.3) -25.0
南部地域	(-31.6) -26.9	(-50.0) -50.0	(-18.4) -23.1



- 大分県内の賃料の足元D I 値をみると、概ねプラスとなっている。回復傾向にある観光地を抱える由布市を含む西部地域においては、いずれもD I 値が高く地域内における賃料上昇が伺える。一方で、共同住宅では南部、店舗・事務所では北部・南部のD I 値がマイナスとなっている。
- 先行きについては、県内全体でみると、一部を除き概ね上昇傾向との見方が大勢となっている。共同住宅では南部、店舗・事務所では北部・南部のD I 値がマイナスで下落傾向との見方となっている。

(3) 地域別地価D I と地価動向

エリア別不動産DIとR7地価公示結果



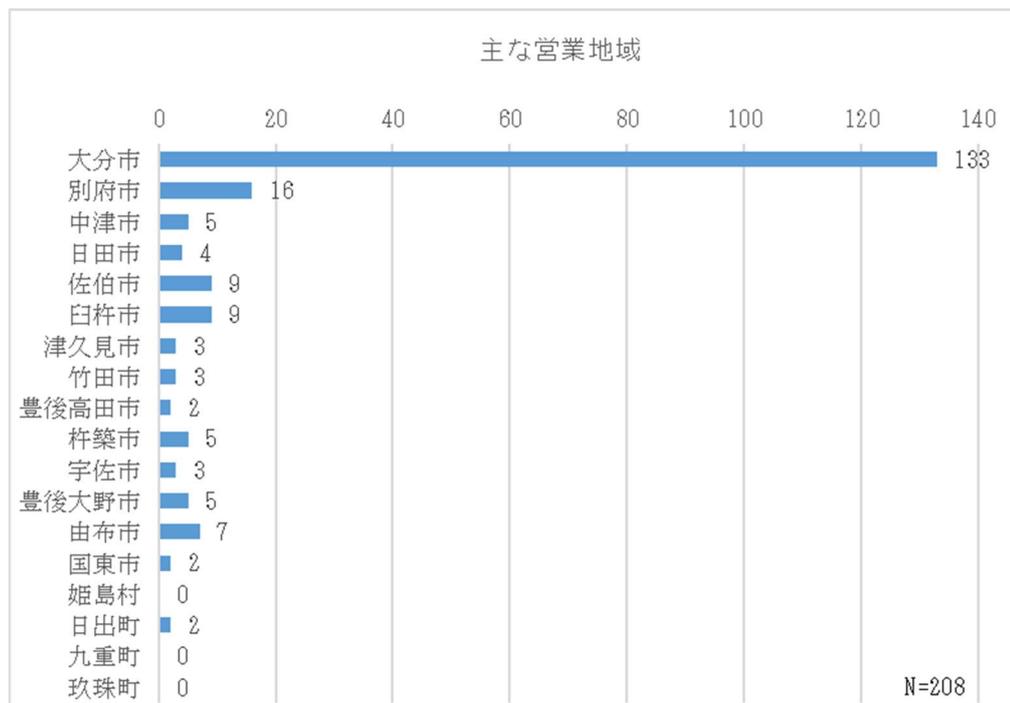
- 住宅地及び商業地の地価の足元のD I と、令和7年1月時点の地価公示における住宅地及び商業地の地価の対前年変動率を比較した。全体的な傾向としては、地価D I と地価公示の地価変動率との間には、正の相関関係が認められる。
- 南部地域は住宅地及び商業地ともD I 値はマイナス、北部地域の商業地のD I 値はゼロ、その他の地域は、住宅地及び商業地ともD I 値はプラスであり、地価公示における対前年変動率は、北部・南部地域を除きプラスになっている。

2. 調査結果の詳細

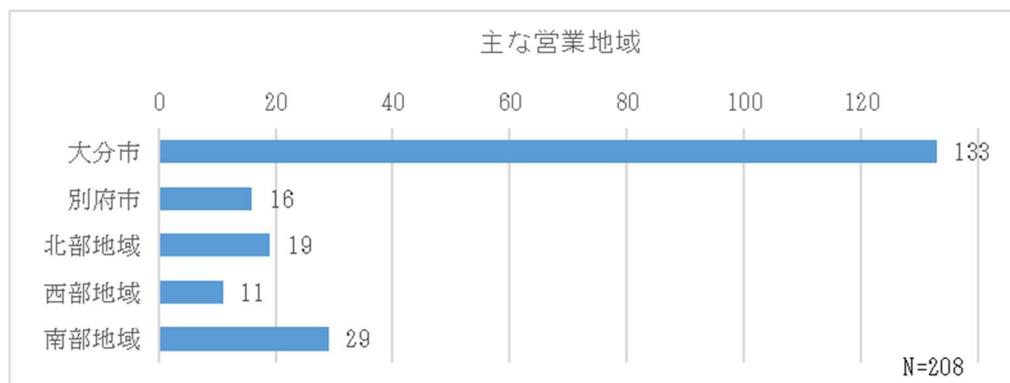
1) 営業の内容

(1) 主な営業地域

問1 大分県内における貴社（支店・営業所等）の主な営業地域をお聞かせください。最も取扱い件数の多い市町村の番号を1つ選び○で囲んでください。（1つに○）



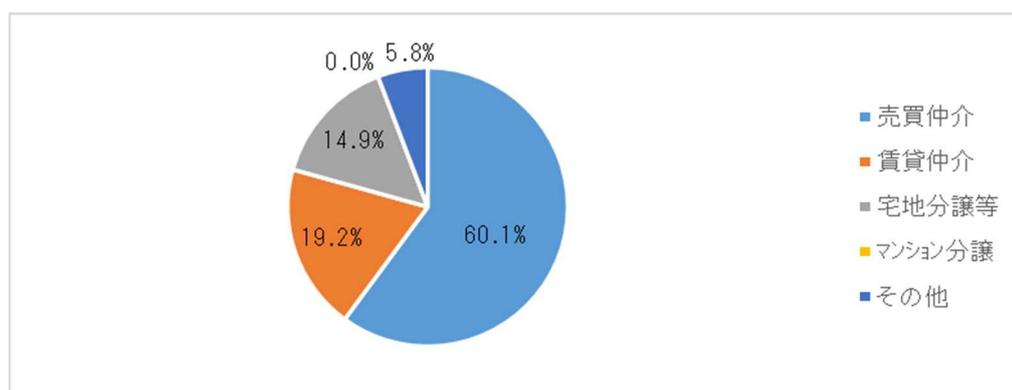
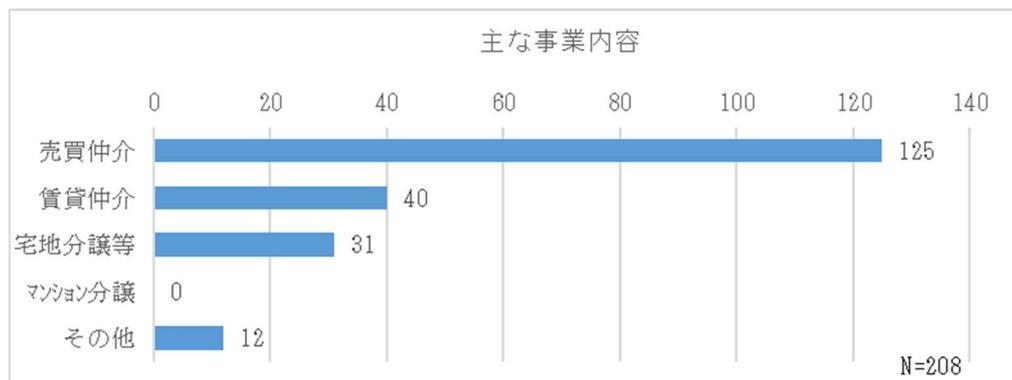
- 主な営業地域としては、有効回答 208 件中、大分市が 133 件と最も多く、全体の 63.9%を占めている。なお、問3以降の集計においては、大分市、別府市以外の市町村を、北部地域（中津市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町）、西部地域（日田市、由布市、九重町、玖珠町）、南部地域（佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市）に区分した。地域区分別の回答数は、下図のとおりである。



(2) 主な事業内容

問2 主な営業地域における貴社の主な事業を1つ選び○で囲んでください。

(1つに○)



- 回答者の主な事業内容について見ると、有効回答 208 件中、売買仲介業務が 125 件と最も多く、全体の 60.1%を占めている。次いで賃貸仲介（40 件、19.2%）宅地分譲等（31 件、14.9%），となっている。なお、「その他」には、自社物件の販売や建設業などが見られた。

(本ページ以下余白)

2) 地価の動向

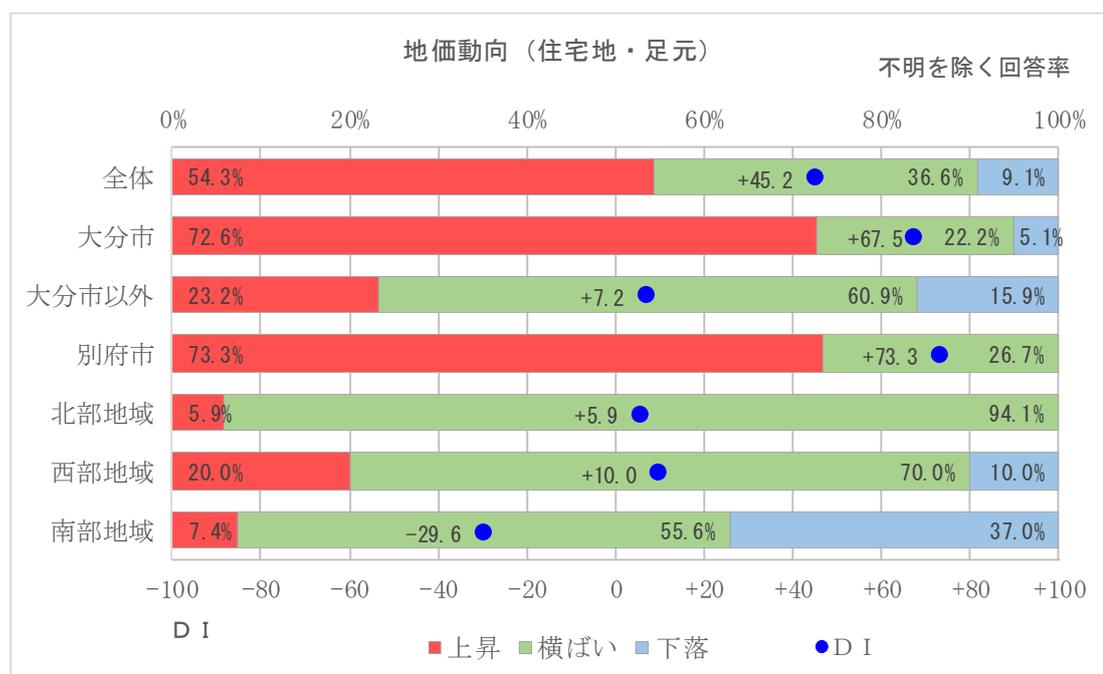
(1) 足元の地価動向

問3 主な営業地域における現在（令和6年10月頃）の地価は、1年～半年前と比較して、どのように感じていますか？
（それぞれ1つに○）

① 住宅地

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	101	68	17	22	208	(+49.4)
	48.6%	32.7%	8.2%	10.6%		+45.2
	54.3%	36.6%	9.1%	—		
大 分 市	85	26	6	16	133	(+69.6)
	63.9%	19.5%	4.5%	12.0%		+67.5
	72.6%	22.2%	5.1%	—		
大分市以外	16	42	11	6	75	(+7.8)
	21.3%	56.0%	14.7%	8.0%		+7.2
	23.2%	60.9%	15.9%	—		
別 府 市	11	4	0	1	16	(+41.2)
	68.8%	25.0%	0.0%	6.3%		+73.3
	73.3%	26.7%	0.0%	—		
北 部 地 域	1	16	0	2	19	(+8.7)
	5.3%	84.2%	0.0%	10.5%		+5.9
	5.9%	94.1%	0.0%	—		
西 部 地 域	2	7	1	1	11	(+31.3)
	18.2%	63.6%	9.1%	9.1%		+10.0
	20.0%	70.0%	10.0%	—		
南 部 地 域	2	15	10	2	29	(-38.1)
	6.9%	51.7%	34.5%	6.9%		-29.6
	7.4%	55.6%	37.0%	—		

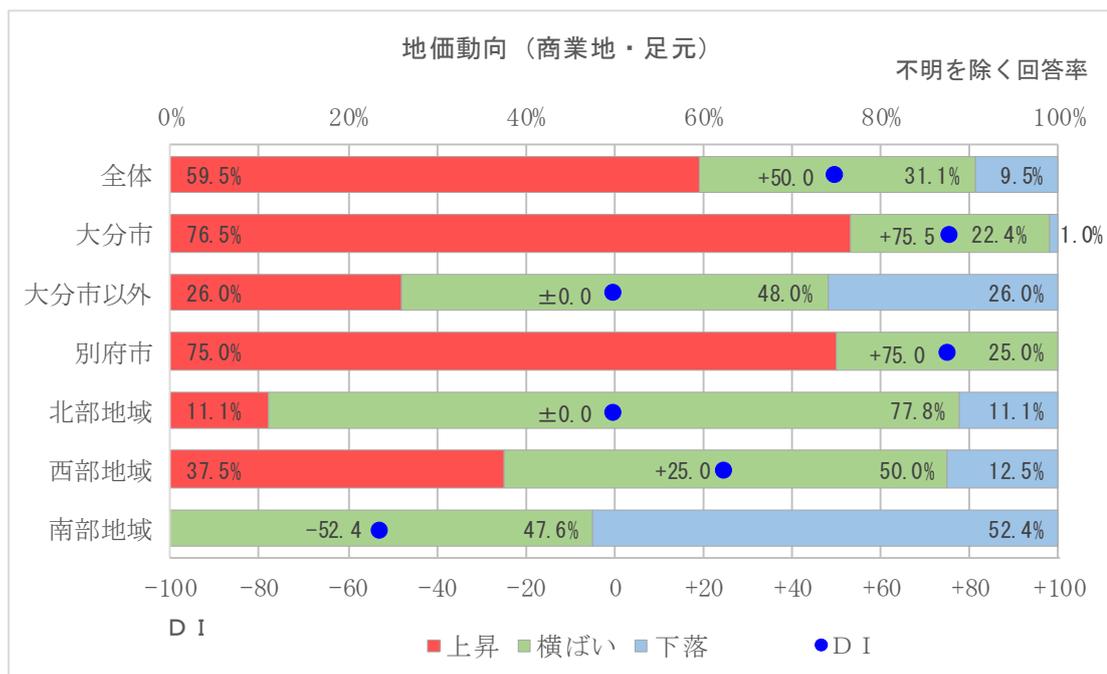


- 全体で「上昇」に対する回答が過半を占めており、別府市，北部地域では「下落」に対する回答はなかった。D I値は大分市（+67.5）、別府市（+73.3）であり、前回調査に引き続き強い見方となった。
- その他の地域でも概ねプラスとなっているが、南部地域のD I値は前回に引き続き、マイナスで慎重な見方となっている。

② 商業地

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	88	46	14	43	191	(+47.2)
	46.1%	24.1%	7.3%	22.5%		+50.0
	59.5%	31.1%	9.5%	—		
大 分 市	75	22	1	26	124	(+71.7)
	60.5%	17.7%	0.8%	21.0%		+75.5
	76.5%	22.4%	1.0%	—		
大分市以外	13	24	13	17	67	(0.0)
	19.4%	35.8%	19.4%	25.4%		0.0
	26.0%	48.0%	26.0%	—		
別 府 市	9	3	0	4	16	(+58.3)
	56.3%	18.8%	0.0%	25.0%		+75.0
	75.0%	25.0%	0.0%	—		
北 部 地 域	1	7	1	7	16	(0.0)
	6.3%	43.8%	6.3%	43.8%		0.0
	11.1%	77.8%	11.1%	—		
西 部 地 域	3	4	1	2	10	(+7.1)
	30.0%	40.0%	10.0%	20.0%		+25.0
	37.5%	50.0%	12.5%	—		
南 部 地 域	0	10	11	4	25	(-38.1)
	0.0%	40.0%	44.0%	16.0%		-52.4
	0.0%	47.6%	52.4%	—		



- 全体で「上昇」に対する回答が過半を占めており、別府市では「下落」に対する回答はなかった。D I値は大分市（+75.5）、別府市（+75.0）であり、前回調査に引き続き強い見方となった。
- その他の地域では、北部地域のD I値は前回から変わらず0.0、回復傾向にある観光地を抱える西部地域が前回の+7.1から+25.1へと強い見方となっている。なお、南部地域のD I値は依然マイナスで「上昇」とする回答がみられず前回調査に比べマイナス幅は拡大した。

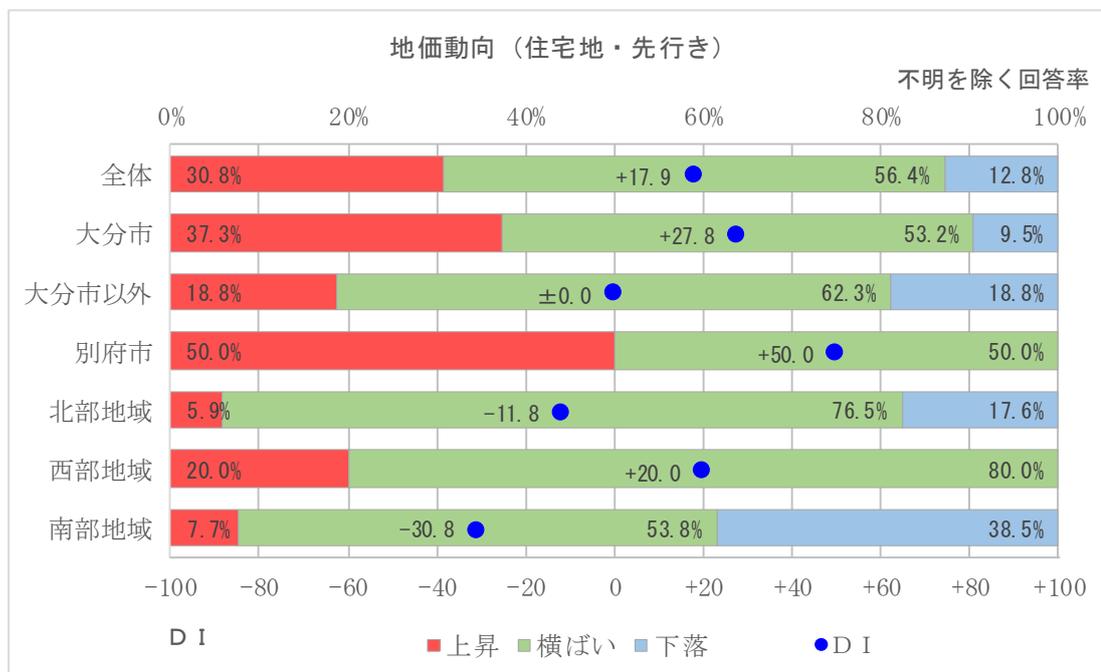
(2) 地価動向の先行き

問4 主な営業地域における半年～1年後の地価は、現在（令和6年10月頃）と比較して、どうなると予想しますか？
（それぞれ1つに○）

① 住宅地

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	60	110	25	13	208	(+21.6)
	28.8%	52.9%	12.0%	6.3%		+17.9
	30.8%	56.4%	12.8%	—		
大 分 市	47	67	12	7	133	(+30.6)
	35.3%	50.4%	9.0%	5.3%		+27.8
	37.3%	53.2%	9.5%	—		
大分市以外	13	43	13	6	75	(+3.8)
	17.3%	57.3%	17.3%	8.0%		0.0
	18.8%	62.3%	18.8%	—		
別 府 市	8	8	0	0	16	(+29.4)
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		+50.0
	50.0%	50.0%	0.0%	—		
北 部 地 域	1	13	3	2	19	(+12.0)
	5.3%	68.4%	15.8%	10.5%		-11.8
	5.9%	76.5%	17.6%	—		
西 部 地 域	2	8	0	1	11	(+12.5)
	18.2%	72.7%	0.0%	9.1%		+20.0
	20.0%	80.0%	0.0%	—		
南 部 地 域	2	14	10	3	29	(-33.3)
	6.9%	48.3%	34.5%	10.3%		-30.8
	7.7%	53.8%	38.5%	—		

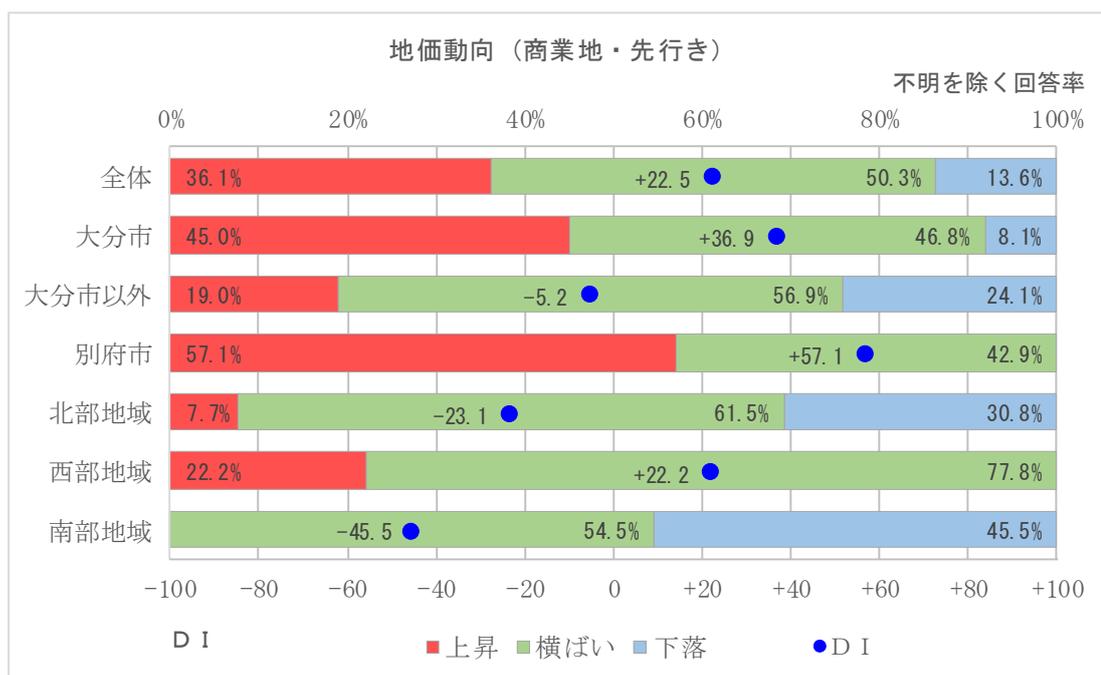


- 全体的なD I値は概ねプラスとなっており、特に別府市が突出しており、大分市、西部地域と共にD I値を牽引している。先行きのD I値は足元のものほど高くなく、慎重な見方となっている。
- 北部地域はD I値がマイナスに転じ、南部地域は前回に引き続きD I値がマイナスとなっている。

② 商業地

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	61	85	23	26	195	(+23.5)
	31.3%	43.6%	11.8%	13.3%		+22.5
	36.1%	50.3%	13.6%	—		
大 分 市	50	52	9	13	124	(+39.8)
	40.3%	41.9%	7.3%	10.5%		+36.9
	45.0%	46.8%	8.1%	—		
大分市以外	11	33	14	13	71	(-7.0)
	15.5%	46.5%	19.7%	18.3%		-5.2
	19.0%	56.9%	24.1%	—		
別 府 市	8	6	0	2	16	(+33.3)
	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%		+57.1
	57.1%	42.9%	0.0%	—		
北 部 地 域	1	8	4	5	18	(+4.3)
	5.6%	44.4%	22.2%	27.8%		-23.1
	7.7%	61.5%	30.8%	—		
西 部 地 域	2	7	0	2	11	(+6.7)
	18.2%	63.6%	0.0%	18.2%		+22.2
	22.2%	77.8%	0.0%	—		
南 部 地 域	0	12	10	4	26	(-52.4)
	0.0%	46.2%	38.5%	15.4%		-45.5
	0.0%	54.5%	45.5%	—		



- 商業地においても、全体的なD I値は概ねプラスとなっており、特に別府市が突出し、大分市、西部地域と共にD I値を牽引している。先行きのD I値は足元のものほど高くなく、慎重な見方となっている。
- 住宅地と同じく商業地においても、北部地域はD I値がマイナスに転じ、南部地域は前回に引き続きD I値がマイナスとなっている。

3) 賃料・空室率の動向

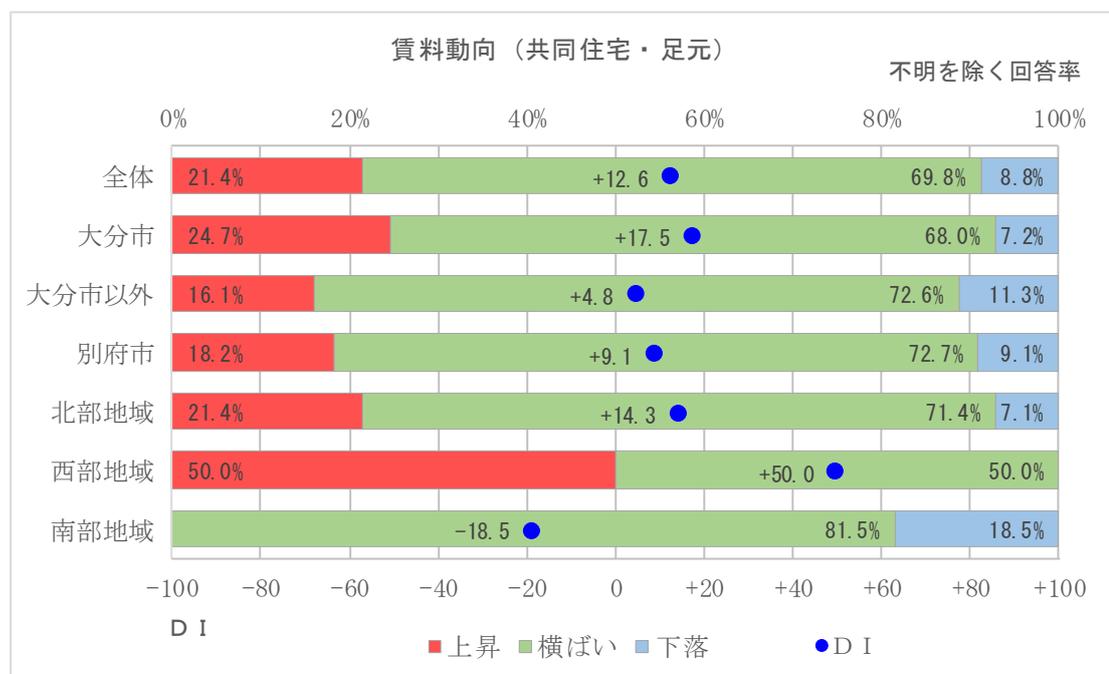
(1) 足元の賃料・空室率の動向

問5 主な営業地域における現在（令和6年10月頃）の賃料や空室率は、1年～半年前と比較して、どのように感じていますか？
(それぞれ1つに○)

① 共同住宅（賃料）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
	全体	34 16.6% 21.4%	111 54.1% 69.8%	14 6.8% 8.8%	46 22.4% —	205
大分市	24 18.5% 24.7%	66 50.8% 68.0%	7 5.4% 7.2%	33 25.4% —	130	(+20.5) +17.5
大分市以外	10 13.3% 16.1%	45 60.0% 72.6%	7 9.3% 11.3%	13 17.3% —	75	(+7.7) +4.8
別府市	2 12.5% 18.2%	8 50.0% 72.7%	1 6.3% 9.1%	5 31.3% —	16	(+10.0) +9.1
北部地域	3 15.8% 21.4%	10 52.6% 71.4%	1 5.3% 7.1%	5 26.3% —	19	(-4.5) +14.3
西部地域	5 45.5% 50.0%	5 45.5% 50.0%	0 0.0% 0.0%	1 9.1% —	11	(0.0) +50.0
南部地域	0 0.0% 0.0%	22 75.9% 81.5%	5 17.2% 18.5%	2 6.9% —	29	(+25.0) -18.5

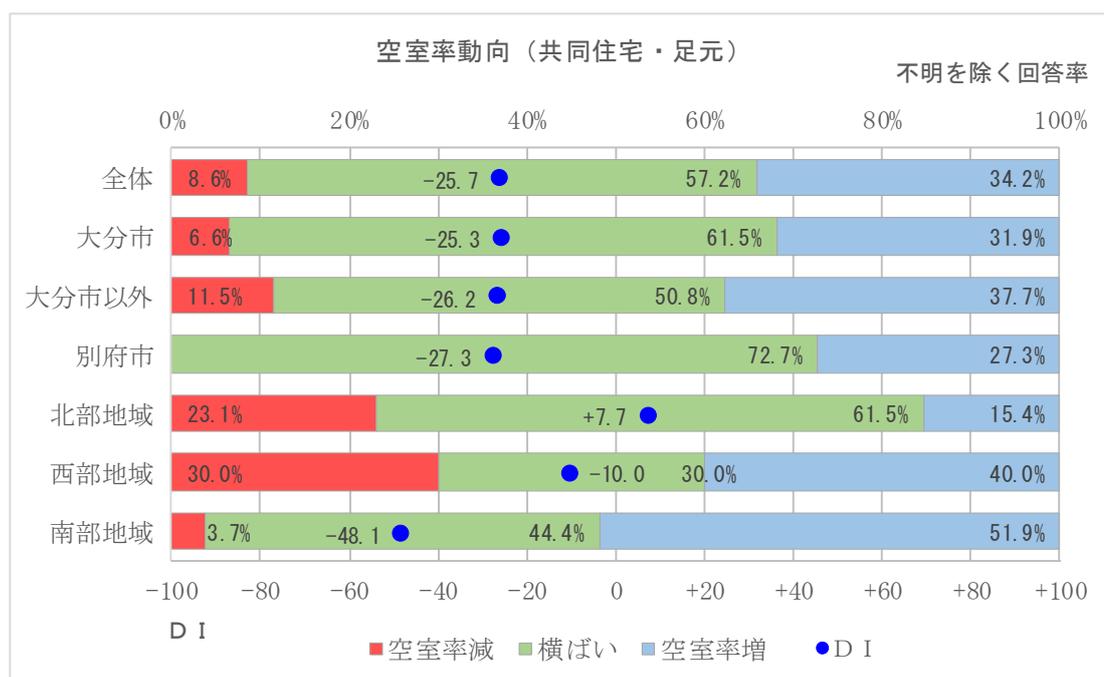


- 全体的な共同住宅の足元の賃料動向は、D I 値でみると引き続き概ねプラスで足元の賃料は上昇傾向との見方となっている。地域別でみると、北部地域のD I 値はプラスに転じ、西部地域では0.0からプラス、南部地域のD I 値はプラスからマイナスとなった。

② 共同住宅（空室率）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	空室率減	横ばい	空室率増	不明	n	D I
全 体	13	87	52	48	200	(-28.6)
	6.5%	43.5%	26.0%	24.0%		-25.7
	8.6%	57.2%	34.2%	—		
大 分 市	6	56	29	35	126	(-31.4)
	4.8%	44.4%	23.0%	27.8%		-25.3
	6.6%	61.5%	31.9%	—		
大分市以外	7	31	23	13	74	(-23.4)
	9.5%	41.9%	31.1%	17.6%		-26.2
	11.5%	50.8%	37.7%	—		
別 府 市	0	8	3	5	16	(-11.1)
	0.0%	50.0%	18.8%	31.3%		-27.3
	0.0%	72.7%	27.3%	—		
北 部 地 域	3	8	2	5	18	(-17.4)
	16.7%	44.4%	11.1%	27.8%		+7.7
	23.1%	61.5%	15.4%	—		
西 部 地 域	3	3	4	1	11	(-15.4)
	27.3%	27.3%	36.4%	9.1%		-10.0
	30.0%	30.0%	40.0%	—		
南 部 地 域	1	12	14	2	29	(-42.1)
	3.4%	41.4%	48.3%	6.9%		-48.1
	3.7%	44.4%	51.9%	—		

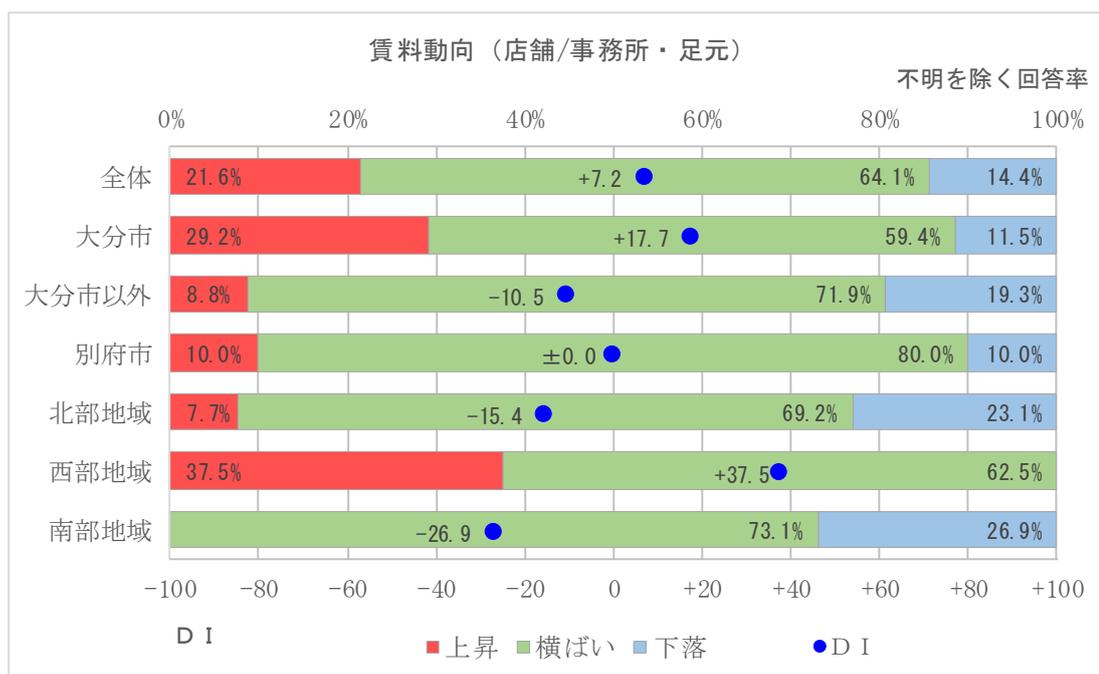


- 共同住宅の足元の空室動向は、北部を除くすべての地域でD I値がマイナスで空室率は上昇しているとの見方となっている。前回調査に比べると、全体としてのマイナス幅はやや縮小している。

③ 店舗・事務所（賃料）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	33	98	22	50	203	(+2.3)
	16.3%	48.3%	10.8%	24.6%		+7.2
	21.6%	64.1%	14.4%	—		
大 分 市	28	57	11	33	129	(+13.0)
	21.7%	44.2%	8.5%	25.6%		+17.7
	29.2%	59.4%	11.5%	—		
大分市以外	5	41	11	17	74	(-18.3)
	6.8%	55.4%	14.9%	23.0%		-10.5
	8.8%	71.9%	19.3%	—		
別 府 市	1	8	1	6	16	(+11.1)
	6.3%	50.0%	6.3%	37.5%		0.0
	10.0%	80.0%	10.0%	—		
北 部 地 域	1	9	3	5	18	(-15.0)
	5.6%	50.0%	16.7%	27.8%		-15.4
	7.7%	69.2%	23.1%	—		
西 部 地 域	3	5	0	3	11	(-25.0)
	27.3%	45.5%	0.0%	27.3%		+37.5
	37.5%	62.5%	0.0%	—		
南 部 地 域	0	19	7	3	29	(-31.6)
	0.0%	65.5%	24.1%	10.3%		-26.9
	0.0%	73.1%	26.9%	—		

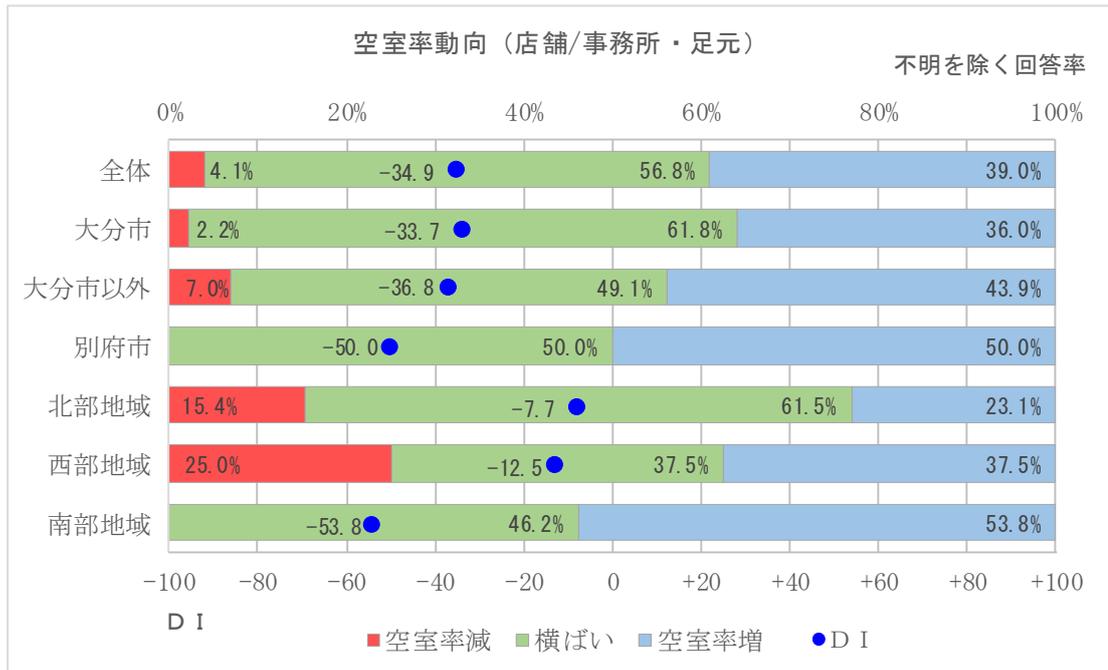


- 店舗・事務所の足元の賃料動向は、全体的にはややプラス幅が拡大している。足元の賃料は上昇傾向との見方となっている。大分市及び西部地域でD I値がプラスでけん引する形となっており、別府市で0.0、その他の地域でD I値がマイナスとなっている。

④ 店舗・事務所（空室率）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	空室率減	横ばい	空室率増	不明	n	D I
全 体	6	83	57	55	201	(-28.3)
	3.0%	41.3%	28.4%	27.4%		-34.9
	4.1%	56.8%	39.0%	—		
大 分 市	2	55	32	38	127	(-28.1)
	1.6%	43.3%	25.2%	29.9%		-33.7
	2.2%	61.8%	36.0%	—		
大分市以外	4	28	25	17	74	(-28.8)
	5.4%	37.8%	33.8%	23.0%		-36.8
	7.0%	49.1%	43.9%	—		
別 府 市	0	5	5	6	16	(-11.1)
	0.0%	31.3%	31.3%	37.5%		-50.0
	0.0%	50.0%	50.0%	—		
北 部 地 域	2	8	3	5	18	(-25.0)
	11.1%	44.4%	16.7%	27.8%		-7.7
	15.4%	61.5%	23.1%	—		
西 部 地 域	2	3	3	3	11	(-8.3)
	18.2%	27.3%	27.3%	27.3%		-12.5
	25.0%	37.5%	37.5%	—		
南 部 地 域	0	12	14	3	29	(-55.6)
	0.0%	41.4%	48.3%	10.3%		-53.8
	0.0%	46.2%	53.8%	—		



- 店舗・事務所の足元の空室率の動向は、前回調査同様、すべての地域でD I値がマイナスで空室率は上昇しているとの見方となっている。前回調査と比べるとマイナス幅が拡大する傾向で、足元での賃貸市場は厳しい見方となっている。

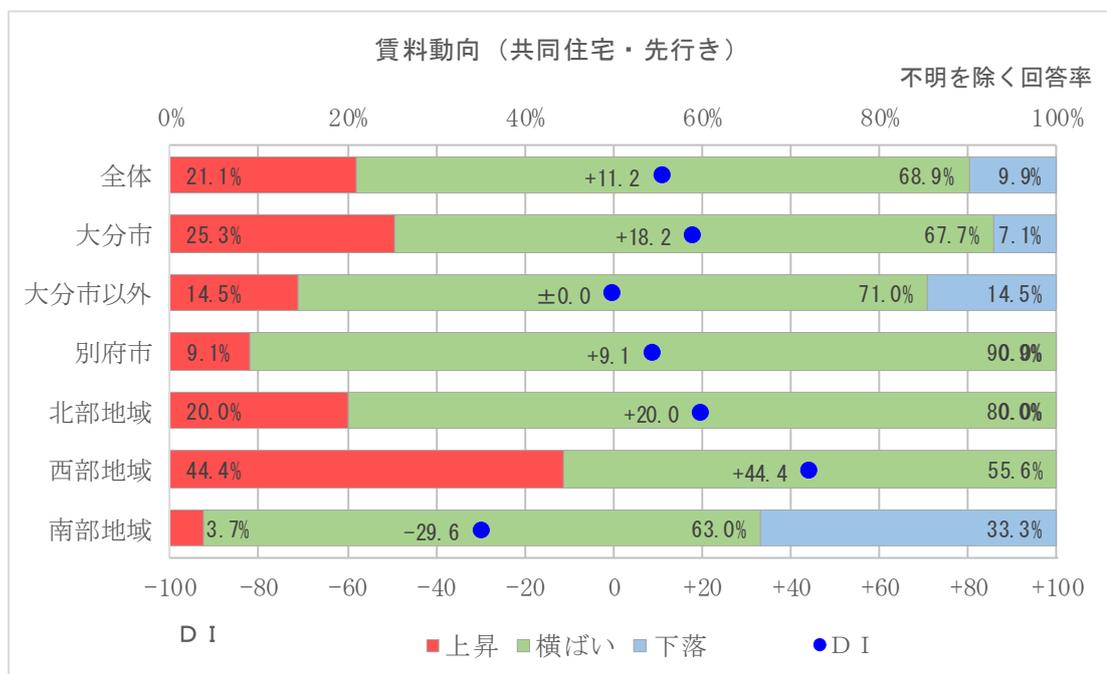
(2) 賃料・空室率の先行き

問6 主な営業地域における半年～1年後の賃料や空室率は、現在（令和6年10月頃）と比較して、どうなると予想しますか？
（それぞれ1つに○）

① 共同住宅（賃料）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	34	111	16	42	203	(+4.5)
	16.7%	54.7%	7.9%	20.7%		+11.2
	21.1%	68.9%	9.9%	—		
大 分 市	25	67	7	29	128	(+10.1)
	19.5%	52.3%	5.5%	22.7%		+18.2
	25.3%	67.7%	7.1%	—		
大分市以外	9	44	9	13	75	(-5.8)
	12.0%	58.7%	12.0%	17.3%		0.0
	14.5%	71.0%	14.5%	—		
別 府 市	1	10	0	5	16	(+9.1)
	6.3%	62.5%	0.0%	31.3%		+9.1
	9.1%	90.9%	0.0%	—		
北 部 地 域	3	12	0	4	19	(0.0)
	15.8%	63.2%	0.0%	21.1%		+20.0
	20.0%	80.0%	0.0%	—		
西 部 地 域	4	5	0	2	11	(+7.7)
	36.4%	45.5%	0.0%	18.2%		+44.4
	44.4%	55.6%	0.0%	—		
南 部 地 域	1	17	9	2	29	(-28.6)
	3.4%	58.6%	31.0%	6.9%		-29.6
	3.7%	63.0%	33.3%	—		

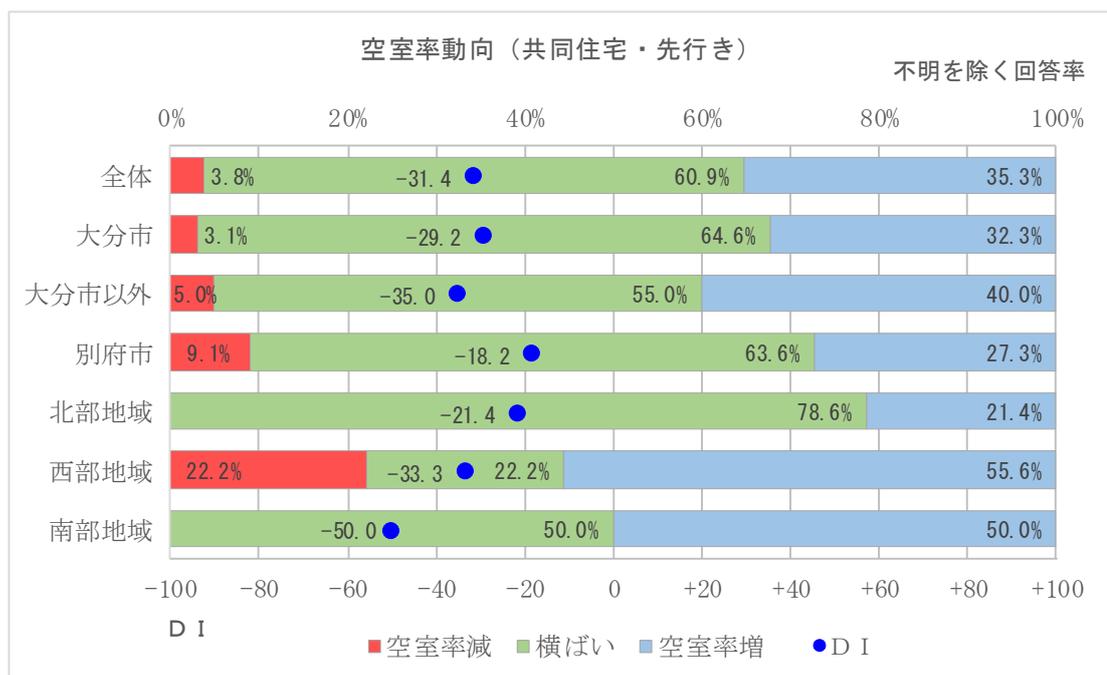


- 共同住宅の賃料動向の全体としての先行きは、D I 値のプラス幅が拡大している。賃料の先行きは上昇傾向との見方となっている。大分市及び北部・西部地域でのプラスの増加幅が大きく拡大している。

② 共同住宅（空室率）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	空室率減	横ばい	空室率増	不明	n	D I
全 体	6	95	55	44	200	(-33.2)
	3.0%	47.5%	27.5%	22.0%		-31.4
	3.8%	60.9%	35.3%	—		
大 分 市	3	62	31	30	126	(-33.6)
	2.4%	49.2%	24.6%	23.8%		-29.2
	3.1%	64.6%	32.3%	—		
大分市以外	3	33	24	14	74	(-32.4)
	4.1%	44.6%	32.4%	18.9%		-35.0
	5.0%	55.0%	40.0%	—		
別 府 市	1	7	3	5	16	(+25.0)
	6.3%	43.8%	18.8%	31.3%		-18.2
	9.1%	63.6%	27.3%	—		
北 部 地 域	0	11	3	4	18	(-30.4)
	0.0%	61.1%	16.7%	22.2%		-21.4
	0.0%	78.6%	21.4%	—		
西 部 地 域	2	2	5	2	11	(-38.5)
	18.2%	18.2%	45.5%	18.2%		-33.3
	22.2%	22.2%	55.6%	—		
南 部 地 域	0	13	13	3	29	(-65.0)
	0.0%	44.8%	44.8%	10.3%		-50.0
	0.0%	50.0%	50.0%	—		

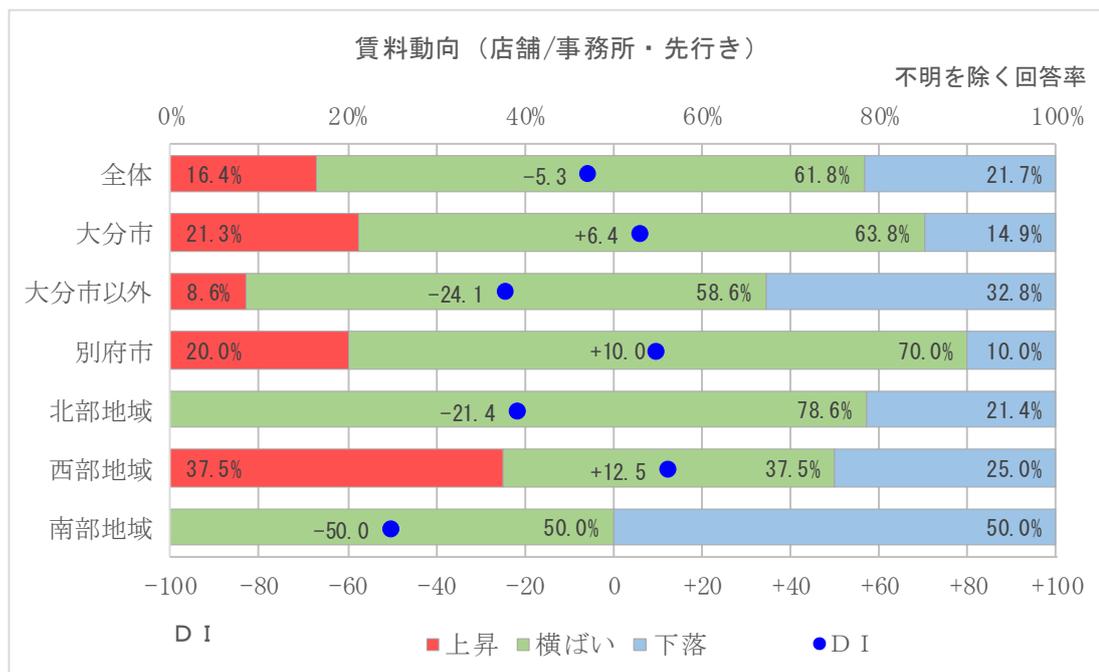


- 共同住宅の空室率動向の先行きは、すべての地域でD I値がマイナスである。足元ではプラスであった北部地域においても、先行きでは空室率は上昇するとの見方となっている。前回調査から引き続き厳しい見方となっている。

③ 店舗・事務所（賃料）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	上昇	横ばい	下落	不明	n	D I
全 体	25	94	33	49	201	(-7.2)
	12.4%	46.8%	16.4%	24.4%		-5.3
	16.4%	61.8%	21.7%	—		
大 分 市	20	60	14	33	127	(-1.7)
	15.7%	47.2%	11.0%	26.0%		+6.4
	21.3%	63.8%	14.9%	—		
大分市以外	5	34	19	16	74	(-16.9)
	6.8%	45.9%	25.7%	21.6%		-24.1
	8.6%	58.6%	32.8%	—		
別 府 市	2	7	1	6	16	(+27.3)
	12.5%	43.8%	6.3%	37.5%		+10.0
	20.0%	70.0%	10.0%	—		
北 部 地 域	0	11	3	4	18	(-9.1)
	0.0%	61.1%	16.7%	22.2%		-21.4
	0.0%	78.6%	21.4%	—		
西 部 地 域	3	3	2	3	11	(-16.7)
	27.3%	27.3%	18.2%	27.3%		+12.5
	37.5%	37.5%	25.0%	—		
南 部 地 域	0	13	13	3	29	(-50.0)
	0.0%	44.8%	44.8%	10.3%		-50.0
	0.0%	50.0%	50.0%	—		

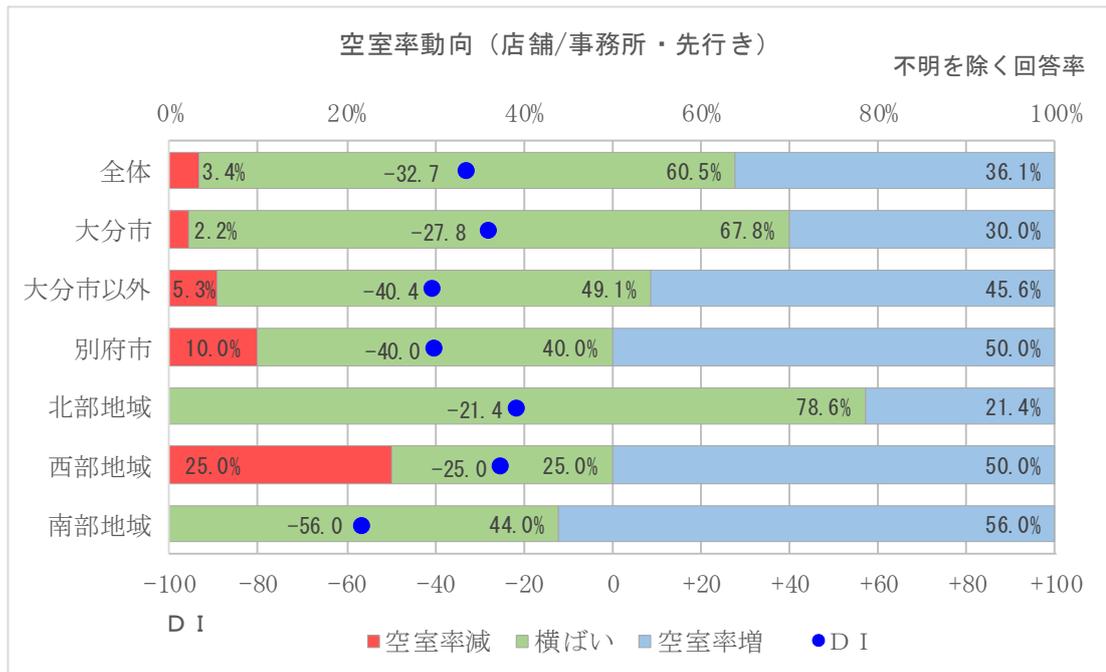


- 全体としての店舗・事務所の賃料動向の先行きは、D I 値がマイナスである。
- 大分市，別府市，西部地域ではD I 値がプラスで賃料は上昇するとの見方。
- 全体としてのD I 値のマイナス幅を縮小させている。

④ 店舗・事務所（空室率）

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	空室率減	横ばい	空室率増	不明	n	D I
全 体	5	89	53	53	200	(-36.2)
	2.5%	44.5%	26.5%	26.5%		-32.7
	3.4%	60.5%	36.1%	—		
大 分 市	2	61	27	36	126	(-34.5)
	1.6%	48.4%	21.4%	28.6%		-27.8
	2.2%	67.8%	30.0%	—		
大分市以外	3	28	26	17	74	(-39.1)
	4.1%	37.8%	35.1%	23.0%		-40.4
	5.3%	49.1%	45.6%	—		
別 府 市	1	4	5	6	16	(0.0)
	6.3%	25.0%	31.3%	37.5%		-40.0
	10.0%	40.0%	50.0%	—		
北 部 地 域	0	11	3	4	18	(-31.8)
	0.0%	61.1%	16.7%	22.2%		-21.4
	0.0%	78.6%	21.4%	—		
西 部 地 域	2	2	4	3	11	(-25.0)
	18.2%	18.2%	36.4%	27.3%		-25.0
	25.0%	25.0%	50.0%	—		
南 部 地 域	0	11	14	4	29	(-75.0)
	0.0%	37.9%	48.3%	13.8%		-56.0
	0.0%	44.0%	56.0%	—		



- 店舗・事務所の空室率動向の先行きは、すべての地域でD I値がマイナスとなった。
- 足元と同様、先行きに対しても賃貸市場は厳しく、空室率は上昇するとの見方となっている。

4) 業況判断

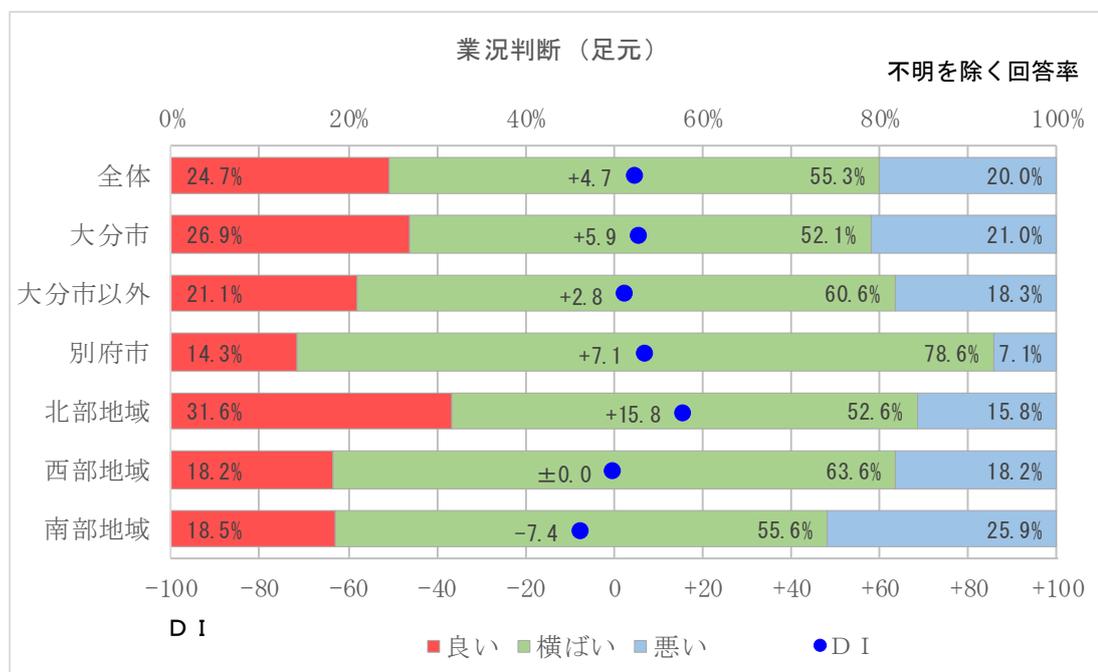
(1) 足元の業況

問7 主な営業地域における現在（令和6年10月頃）の貴社（支店・営業所等）の取扱い件数や売上高等の業況は、1年～半年前と比較して、どのように感じていますか？（1つに○）

① 主な営業地域別

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	良い	横ばい	悪い	不明	n	D I
全 体	47	105	38	18	208	(-4.3)
	22.6%	50.5%	18.3%	8.7%		+4.7
	24.7%	55.3%	20.0%	—		
大 分 市	32	62	25	14	133	(-7.2)
	24.1%	46.6%	18.8%	10.5%		+5.9
	26.9%	52.1%	21.0%	—		
大分市以外	15	43	13	4	75	(+1.3)
	20.0%	57.3%	17.3%	5.3%		+2.8
	21.1%	60.6%	18.3%	—		
別 府 市	2	11	1	2	16	(-5.9)
	12.5%	68.8%	6.3%	12.5%		+7.1
	14.3%	78.6%	7.1%	—		
北 部 地 域	6	10	3	0	19	(+13.6)
	31.6%	52.6%	15.8%	0.0%		+15.8
	31.6%	52.6%	15.8%	—		
西 部 地 域	2	7	2	0	11	(-12.5)
	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%		0.0
	18.2%	63.6%	18.2%	—		
南 部 地 域	5	15	7	2	29	(+4.5)
	17.2%	51.7%	24.1%	6.9%		-7.4
	18.5%	55.6%	25.9%	—		

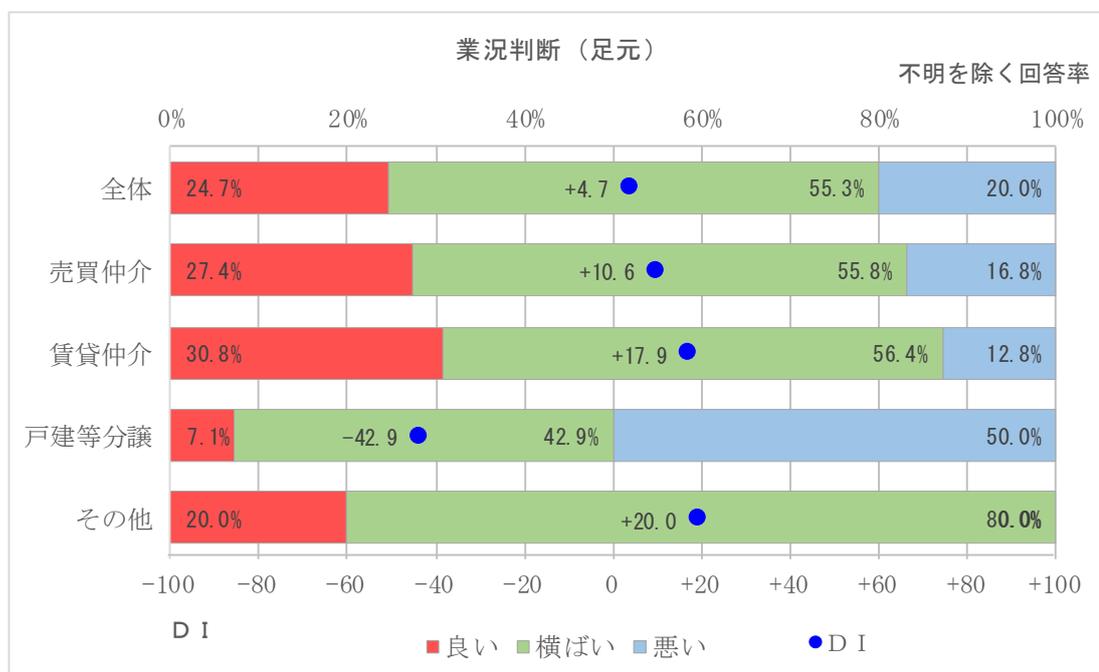


- 全体的な足元の業況判断については、D I 値がマイナスからプラスへ転じ、改善している。
- ほぼすべての地域で改善の傾向がみられるが、南部地域のみD I 値がマイナスへと転じている。

主な事業内容別

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	良い	横ばい	悪い	不明	n	D I
全 体	47	105	38	18	208	(-4.8)
	22.6%	50.5%	18.3%	8.7%		+4.7
	24.7%	55.3%	20.0%	—		
売 買 仲 介	31	63	19	12	125	(0.0)
	24.8%	50.4%	15.2%	9.6%		+10.6
	27.4%	55.8%	16.8%	—		
賃 貸 仲 介	12	22	5	1	40	(0.0)
	30.0%	55.0%	12.5%	2.5%		+17.9
	30.8%	56.4%	12.8%	—		
戸 建 分 譲 宅 地 分 譲	2	12	14	3	31	(-28.1)
	6.5%	38.7%	45.2%	9.7%		-42.9
	7.1%	42.9%	50.0%	—		
そ の 他	2	8	0	2	12	(-15.4)
	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%		+20.0
	20.0%	80.0%	0.0%	—		



- 主な事業内容別に足元の業況を見ると、今回調査ではほぼ改善している。
- 戸建・宅地分譲の事業でD I値がマイナス幅を拡大しており、厳しい見方となっている。

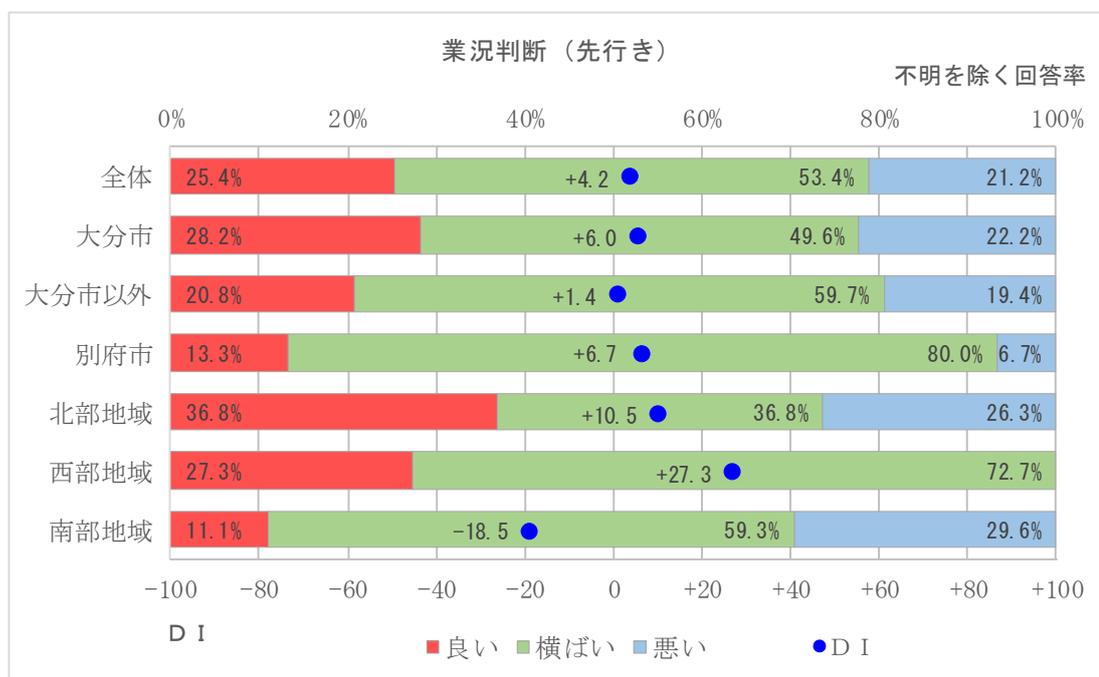
(2) 業況の先行き

問8 主な営業地域における半年～1年後の貴社（支店・営業所等）の取扱い件数や売上高等の業況は、現在（令和6年10月頃）と比較して、どうなると予想しますか？（1つに○）

① 主な営業地域別

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	良い	横ばい	悪い	不明	n	D I
全 体	48	101	40	19	208	(+5.1)
	23.1%	48.6%	19.2%	9.1%		+4.2
	25.4%	53.4%	21.2%	—		
大 分 市	33	58	26	16	133	(+7.1)
	24.8%	43.6%	19.5%	12.0%		+6.0
	28.2%	49.6%	22.2%	—		
大分市以外	15	43	14	3	75	(+1.3)
	20.0%	57.3%	18.7%	4.0%		+1.4
	20.8%	59.7%	19.4%	—		
別 府 市	2	12	1	1	16	(-5.6)
	12.5%	75.0%	6.3%	6.3%		+6.7
	13.3%	80.0%	6.7%	—		
北 部 地 域	7	7	5	0	19	(+21.7)
	36.8%	36.8%	26.3%	0.0%		+10.5
	36.8%	36.8%	26.3%	—		
西 部 地 域	3	8	0	0	11	(-6.3)
	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%		+27.3
	27.3%	72.7%	0.0%	—		
南 部 地 域	3	16	8	2	29	(-8.7)
	10.3%	55.2%	27.6%	6.9%		-18.5
	11.1%	59.3%	29.6%	—		

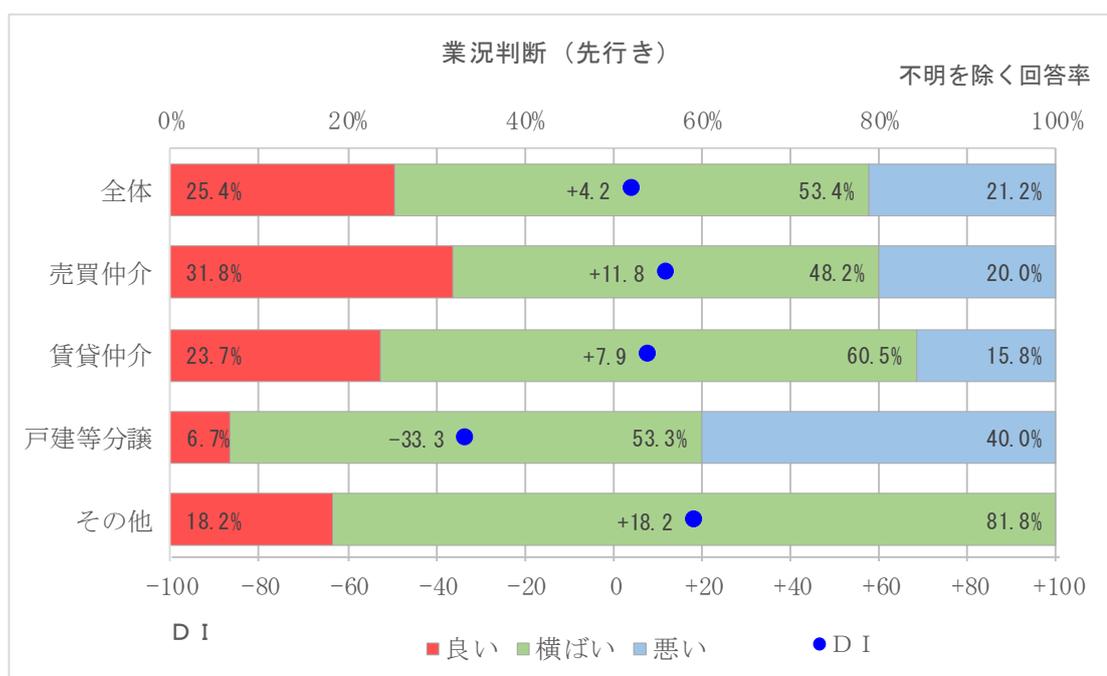


- 全体的な先行きの業況判断については、D I 値はプラスを維持している。
- 南部地域のみD I 値のマイナス幅が拡大しており、局所的に厳しい見方が強まっている。

② 主な事業内容別

上段：回答数，中段：回答率（不明を含む），下段：回答率（不明を除く），D Iの（）は前回調査結果

	良い	横ばい	悪い	不明	n	D I
	(回答数)	(回答率)	(回答率)	(回答率)		
全 体	48	101	40	19	208	(+4.7)
	23.1%	48.6%	19.2%	9.1%		+4.2
	25.4%	53.4%	21.2%	—		
売 買 仲 介	35	53	22	15	125	(+8.0)
	28.0%	42.4%	17.6%	12.0%		+11.8
	31.8%	48.2%	20.0%	—		
賃 貸 仲 介	9	23	6	2	40	(+5.3)
	22.5%	57.5%	15.0%	5.0%		+7.9
	23.7%	60.5%	15.8%	—		
戸 建 分 譲 宅 地 分 譲	2	16	12	1	31	(-3.1)
	6.5%	51.6%	38.7%	3.2%		-33.3
	6.7%	53.3%	40.0%	—		
そ の 他	2	9	0	1	12	(-14.3)
	16.7%	75.0%	0.0%	8.3%		+18.2
	18.2%	81.8%	0.0%	—		



- 主な事業内容別に先行きの業況を見ると、引き続きやや改善傾向がみられる。
- 戸建・宅地分譲の事業でのD I値がマイナス幅を拡大しており、先行きについても厳しい見方となっている。

5) 不動産市場の動向に関し特に感じていること（自由回答）

問9 主な営業地域における不動産市場の動向に関し、特に感じていることなどがございましたら、お知らせください。

① 大分市

- ・ 地価が上がったと思う。
- ・ 土地価格の上昇が著しい。また建設資材の上昇もあり、不動産取引に影響が大きい。
- ・ 地域格差が大きくなると思う。現状では、中心部及び大在地区は上昇気味。大分駅南が美しく開発され、マンションなど人気を呼んだが、駅北の海拔が低い地域はどうなるのかと思っていたが、官公庁などは全く他の場所に移転することが無く、警察署・法務局・知事公舎など新しくなっても近いところに建設された、大分駅北に集中していることは変わらず、中心部と他の場所の格差は益々広がると思う。
- ・ 土地価格が異常値まで高騰しており、一般市民が一定水準以上の住まいを手に入れる（購入する）ことが困難になっていると感じています。
- ・ 戸建て住宅の建築費高騰により建売等の販売が難しくなり、共同住宅(中古含む)の需要が高まっている。
- ・ 土地の価格に関して、人気のエリアは高くても売れるが、そうでないエリアはかなり値下げしないと売れなくなっているように感じる。
- ・ 戸建て用住宅敷地の需要が軟化するように思う。金利の状況が大きく影響する。
- ・ 建築価格の高騰による住宅着工数の減少が、土地の需要の減少につながる。
- ・ 部材高騰による新築建物の不透明さが、今後の懸念材料として不安材料と感じる。
- ・ 駐車場が少ない（特に中心部）。マンションの建設に伴う台数確保が足りてない。
- ・ マンション新築ラッシュ、地価・建築費高騰により、中古需要に移行。
- ・ 中心部の新築マンションの相場が上昇し、中古マンションの相場が下落しているのではないかと感じる。
- ・ マンションの需要が高まっている。
- ・ 建売物件があふれてきており値下げ競争が始まっている。建築と格安賃貸物件は動くが、中間物件の動きが少ない。礼金付き物件が増えたので住み替えのお客さんが少なくなったように感じる。礼金を払ってまで今の住居の不満を解決しようとは思っていない。
- ・ ハウスメーカーの賃貸物件の賃上げが、市場の家賃相場を上げている。
- ・ ペット可のお部屋を探されるお客様が1/3位いるようで、多く感じる。県外からの客は10万/月以上でも可で、新築を好むように感じる。
- ・ ペット可の物件を探す方が多い。福岡に比べると賃金などは大分県が低いのに、賃料は博多区・東区・南区等と大差ない。
- ・ 近隣のライバル物件も、当社の空室の時期に同じように空室であった。成約まで募集期間が長く感じる。賃貸の動きが鈍い。
- ・ 高齢者のアパート需要が増えつつあると思う。

② 別府市

- ・ 別府市の空室が多くなった。

③ 北部地域

- ・ 移住者が増えていて多少ではあるが新築賃貸アパートが建設されている。外国の就労者が直接アパートを借りるか、会社契約の形で入居されている。
- ・ 戸建て住宅が増えている。

④ 西部地域

- ・ 周辺のみならず、中心市街地においても空家が増えているが、相続人が市外にいるケースが多く有効に利用されないケースが多いと感じる。新しい分譲地は最近だと売れ残りが増えてきたと感じる。
- ・ 外国人観光客のコロナ明けの振れ戻りが大きく、当該地域の商業店舗や共同住宅への問い合わせが増加している。空室率が大幅に減少し、むしろ不景気気味となっている。
- ・

⑤ 南部地域

- ・ 空家が増えており処分売買などに結び付かない。人口減少。
- ・ ペット物件の需要が増加すると思う。

《付属資料》 アンケート調査票

不動産の市場動向に関するアンケート調査
(大分県不動産市況DI調査)

公益社団法人 大分県不動産鑑定士協会

○本調査は、大分県のご後援のもと、一般社団法人大分県宅地建物取引業協会並びに公益社団法人全日本不動産協会大分県本部のご承認をいただき、年1回(秋期)、公益社団法人大分県不動産鑑定士協会にて実施(※令和3年度までは年2回実施。)させて頂いております。

○本調査は、大分県における不動産の現状と将来の動向に関する皆様のご意見を賜り、集計した結果を広く提供することを目的としております。

○回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、回答者名を付して個々の回答を個別に発表したり、本調査の目的以外に使用することはございません。

問1 大分県内における貴社(支店・営業所等)の主な営業地域をお聞かせください。最も取扱い件数の多い市町村の番号を1つ選び○で囲んでください。(1つに○)

- | | | | | |
|--------|----------|--------|---------|--------|
| 1 大分市 | 2 別府市 | 3 中津市 | 4 日田市 | 5 佐伯市 |
| 6 臼杵市 | 7 津久見市 | 8 竹田市 | 9 豊後高田市 | 10 杵築市 |
| 11 宇佐市 | 12 豊後大野市 | 13 由布市 | 14 国東市 | 15 姫島村 |
| 16 日出町 | 17 九重町 | 18 玖珠町 | | |

以下の質問はすべて、問1で回答いただいた市町村(以下、「主な営業地域」という。)についてお尋ねします。

問2 主な営業地域における貴社の主な事業を1つ選び○で囲んでください。(1つに○)

- | | | | |
|-------------|----------|-------------|-----------|
| 1 売買仲介業務 | 2 賃貸仲介業務 | 3 戸建分譲・宅地分譲 | 4 マンション分譲 |
| 5 その他(具体的に) | | | |

問3 主な営業地域における現在(令和6年10月頃)の地価は、1年～半年前と比較して、どのように感じていますか?(それぞれ1つに○)

- | | | | | |
|--------|-----------|----------|-----------|---------|
| 住宅地の地価 | 1 上昇したと思う | 2 横ばいと思う | 3 下落したと思う | 4 分からない |
| 商業地の地価 | 1 上昇したと思う | 2 横ばいと思う | 3 下落したと思う | 4 分からない |

問4 主な営業地域における半年～1年後の地価は、現在(令和6年10月頃)と比較して、どうなると予想しますか?(それぞれ1つに○)

- | | | | | |
|--------|-----------|----------|-----------|---------|
| 住宅地の地価 | 1 上昇すると思う | 2 横ばいと思う | 3 下落すると思う | 4 分からない |
| 商業地の地価 | 1 上昇すると思う | 2 横ばいと思う | 3 下落すると思う | 4 分からない |

問5 主な営業地域における現在（令和6年10月頃）の賃料や空室率は、1年～半年前と比較して、どのよう
に感じていますか？ （それぞれ1つに○）

共同住宅の賃料	1 上昇したと思う	2 横ばいと思う	3 下落したと思う	4 分からない
共同住宅の空室率	1 減少(改善)したと思う	2 横ばいと思う	3 増加(悪化)したと思う	4 分からない
店舗・事務所の賃料	1 上昇したと思う	2 横ばいと思う	3 下落したと思う	4 分からない
店舗・事務所の空室率	1 減少(改善)したと思う	2 横ばいと思う	3 増加(悪化)したと思う	4 分からない

問6 主な営業地域における半年～1年後の賃料や空室率は、現在（令和6年10月頃）と比較して、どうなる
と予想しますか？ （それぞれ1つに○）

共同住宅の賃料	1 上昇すると思う	2 横ばいと思う	3 下落すると思う	4 分からない
共同住宅の空室率	1 減少(改善)すると思う	2 横ばいと思う	3 増加(悪化)すると思う	4 分からない
店舗・事務所の賃料	1 上昇すると思う	2 横ばいと思う	3 下落すると思う	4 分からない
店舗・事務所の空室率	1 減少(改善)すると思う	2 横ばいと思う	3 増加(悪化)すると思う	4 分からない

問7 主な営業地域における現在（令和6年10月頃）の貴社（支店・営業所等）の取扱い件数や売上高等の業
況は、1年～半年前と比較して、どのように感じていますか？ （1つに○）

貴社の業況 1 良くなったと思う 2 横ばいと思う 3 悪くなったと思う 4 分からない

問8 主な営業地域における半年～1年後の貴社（支店・営業所等）の取扱い件数や売上高等の業況は、現在
（令和6年10月頃）と比較して、どうなる予想しますか？ （1つに○）

貴社の業況 1 良くなると思う 2 横ばいと思う 3 悪くなると思う 4 分からない

問9 主な営業地域における不動産市場の動向に関し、特に感じていることなどがございましたら、お知らせ
ください。

例：郊外の戸建住宅の人气がなくなり、中心部のマンションの需要が高まっている。
ペット可のアパートの人气が上昇したなど。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

回答は、本日会場で提出、またはファックス（097-534-9399）にて、 月 日（ ）までに送信くださいます
ようお願いします。